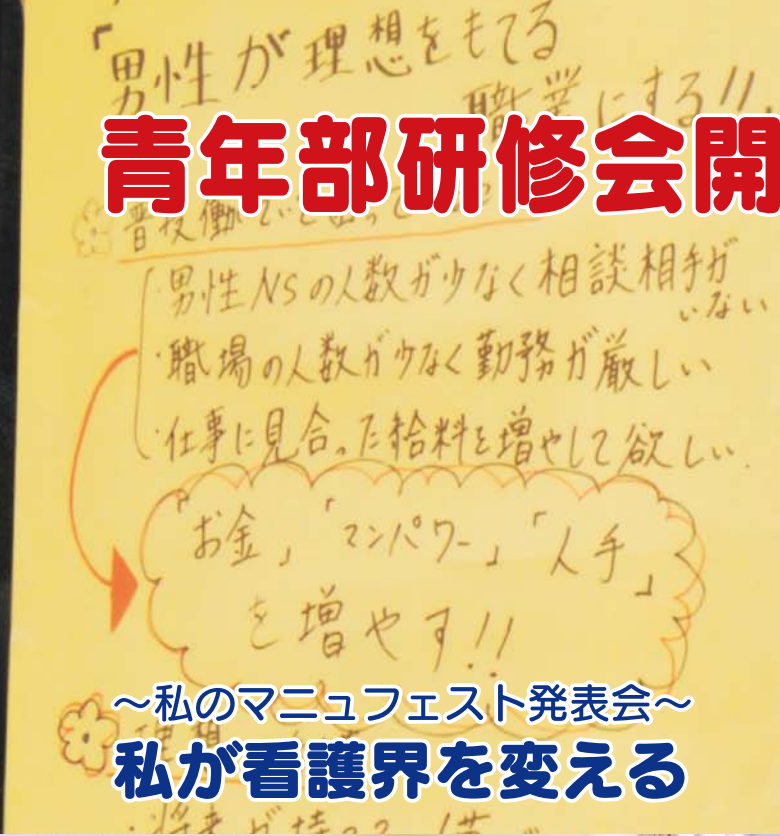


青年部研修会開催される



～私のマニフェスト発表会～
私が看護界を変える



栃木県 看護連盟 だより



平成24年
2月10日発行
第**48**号

発行者: 栃木県看護連盟
〒320-0838 宇都宮市吉野2-8-15(社) 栃木県看護協会研修センター内
TEL 028-610-1035
発行責任者: 栃木県看護連盟会長 伊藤正子 印刷所: (株)井上総合印刷

INDEX

ご挨拶
伊藤正子/河野順子2
清水嘉与子3
あべ俊子/高階恵美子4
組織代表に石田昌宏氏を内定!!5
県別リーダーセミナー開催6
国会議事堂見学6
青年部研修会開催7
趣味 [生涯続ける自転車ライフ]8

	平成23年度 栃木県看護連盟会員数		合計
	男性	女性	
保健師	9名	142名	151名
助産師	0名	250名	250名
看護師	395名	5767名	6162名
准看護師	31名	381名	412名
合計	435名	6540名	6975名

協会比 68.0% 賛助会員 239名

連盟会員募集中

会費7,000円(本部5,000円,県2,000円)/年(賛助会員1,000円/年)

辰の勢いで



栃木県看護連盟会長
伊藤正子

会員の皆様、新春のお歓びを申し上げます。

去年は、戦後最大の試練の年でした。悲しみや苦しみの多い一年でしたが、被災者の皆様の復興への熱意と努力に私たちがおおいに励まされた一年でもありました。「首都直下型地震が4年以内に70%おこるのでは」の報道におののいております。日ごろから危機管理に対しての十分な学習と訓練が必要であることを痛感しております。

一昨年、政権交代がありました。看護連盟では初心貫徹して「高階恵美子さん」を上位で当選させることが出来ました。高階議員は熟年議員のごとく大活躍しています。

あの時の熱い想いを来年7月までそれ以上に持ち続けることが出来ますように期待しています。美酒を育てるのに時間を要するように、「連盟活動を理解していただくにも」時間の蓄積が必要です。私達は各支部でのミニ研修会、後援会、ミニ説明会など細やかな計画に基づいて、実践して下さるようお願い致します。「参議院選挙」はあと1年先ですが、箱根ランナーが教えてくれた「タスキをつなぐことの大切さ」を来年の7月には必ず実現できるよう一丸となって前に進みたいと思います。

来年の参議院選の候補予定者が決まりましたので前回に増して皆様のご協力、ご支援を心からお願い致します。

今年の干支の辰は非常に強い競争心を持っており、どこまでも闘い続けようとする生物だそうです。辰の勢いで頑張りましょう。

試練の年を 乗り越えて



栃木県看護協会会長
河野順子

会員のみなさま新年おめでとうございます。

去年は、春まだ浅い3月11日未曾有の大震災（東日本大震災）に見舞われまして、日本国民が深い悲しみに陥りました。そしてその時の日本人は、秩序を守り耐え忍び助け合って真剣に生きる姿を世界の人々に示し、賞賛されたことは悲しみの中にも励みになったことでした。日本看護協会では当日に災害対策本部を立ち上げ、全国の災害支援ナースを被災地に派遣し、大きな働きをされました。また、栃木県看護協会も日本看護協会の要請を受けて福島県へ災害支援ナースを派遣し活動をしてきました。

また、宮城県看護協会には看護職が必要としているユニホーム等を県内の医療施設からご寄付頂いた 約 1500 着を届けました。

栃木県に被災して来られた方に対しては、栃木県の要請もありボランティアの看護職の方々がケアの支援に赴いてくださいました。

まさかの時にさまざまな形で支援のできる体制が委員会として組み立てられていたことと会員のみなさまの多大なるご協力があったからこそできたものと改めて感謝しております。

さて、日本看護協会では看護協会長を久常節子氏から坂本すが氏に引き継がれ、多くの事業を多年手がけてるかのようになりに実践されています。

栃木県看護協会でも公益社団法人化に向け積極的に事業に取り組んでいるところ
です。おかげで組織拡大において会員数が一万を超えました。

また、重点事業の中の「働きやすい職場づくり」では、ワークライフバランス
の一環として日本看護協会と共同でワークショップを行いました。まだ継続中
ではありますが参加された病院には有効であったと感じております。

この「働きやすい職場づくり」は、厚生労働省の4つの局が一緒になって「看護
師等の『雇用の質』の向上に関する省内プロジェクトチーム」を立ち上げ、報
告書が出されました。

栃木県看護協会でも栃木労働局とともに労務管理などについて話し合ったり、
講義を受けたりしている段階です。

看護連盟の皆様と共に、働く看護職が安心して働ける職場づくりを推進してい
けますことを願っております。

今年もよろしくお願い申し上げます。

超高齢化社会を 見すえていく



日本看護連盟会長
清水 嘉与子

明けましておめでとうございます。

昨年の東日本大震災は被災地のみならず、日本中に衝撃を与えました。命がけで患
者さんを護った被災地の看護師たちとともに、全国から看護の支援の輪も大きく広
がり、看護職の存在が大きく評価されました。日本訪問看護振興財団でも宮城県
の仮設住宅に訪問看護師を派遣していますが、疾病予防・介護予防の分野での看護師
の役割が大きいことを実感させられています。

こんな国の一大事の中で政権交代後3人目の総理大臣が誕生したのですから驚き
というしかありません。大震災・放射能被害からの復興、沖縄基地問題、TPP問題
など野田内閣の目の前には課題山積です。野田総理には思い切ったリーダーシップ
を期待しましょう。

とにかく政治情勢が不安定な中でも10年後には団塊の世代が高齢期に入ること
が明らかなように高齢化はどんどん進んでいます。超高齢社会にふさわしい医療保
険制度を模索するとすれば、絶対的に数の多い、しかも高度な知識や技術を併せ持
った看護師たちを医療機関内だけでなく在宅も含めて充分活用することこそ急がれ
ます。そんな政策を実現していくためにも、日本看護連盟はこれまで国政の場へ代
表を送る活動を続けてきましたが、引き続き時期参議院選挙にむけてもその活動を
続ける準備を進めています。是非皆様と力を合わせて連盟活動を発展させたいと願
います。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



逆風の中で 学んだこと



衆議院議員

あべ 俊子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。また栃木県看護連盟の皆様にはいつも温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は未曾有の大震災という試練の中、大変な国難の一年となりました。その被害は計り知れないほど大きいものであり、多くの国民の皆様には大変なご心労、ご苦勞をおかけしていることを心苦しく感じた一年でもありました。新しい年を迎えるにあたり、この一年、この国が復興への道のを一歩ずつ着実に歩いていけるよう、国政の場で精一杯努めてまいる決意をあらたにしています。

昨年は国会では、自民党の国会対策委員会副委員長を拝命し、また厚生労働委員会・文部科学委員会をはじめとした4つの委員会に身を置いて活動いたしました。所属の委員会だけではなく、農林水産・財務金融・消費者問題など様々な委員会で質問の機会をいただけたことから、会期中は地元岡山との往来も含めて毎週多忙を極めましたが、看護以外の分野を広く学ぶことで知識だけでなくもの見方や考え方も広がり、そういった経験が今後看護界のために必ず役立っていくものと確信しています。

これからの復興には、政界全体がまとまらなくては進まないことも多々あります。常に国民の皆さんの暮らしの安定を第一に考え、政治と政局とを切り分けて国会運営に臨む姿勢を崩さず、今後も行動していきたいと思えます。

そして看護職の皆さんにも現場が良い方へ変わったと少しでも実感していただけるよう、今年も変わらず精一杯頑張っまいります。どうか本年も、皆様のお声をお聞かせ頂き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

不安要素の多い 今だからこそ



参議院議員

高階 恵美子

栃木県看護連盟の皆様へ、謹んで年始のご挨拶申し上げます。いつも変わらぬ皆様方のご尽力に対し、改めて衷心より感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、東日本大震災をはじめ、豪雨による被害など甚大な災害に見舞われた年となりました。これらの災害は、多くの悲しみや苦難をもたらしましたが、一方で社会とのつながりの重要性やその価値観、命の大切さを再認識する機会ともなりました。かねてより、看護職は命を守り、社会のつながりの中で人々に寄り添って参りましたが、今このような時代だからこそ、頼れる専門職として、看護職に対する信頼や期待が高まっていることと思えます。

どのように政局が不安定な状況にあろうとも、国民の生活は安定したものでなければなりません。今年は、診療報酬・介護報酬の見直し、社会保障と税の一体改革など社会保障制度に関して大きな動きがある年です。社会保障の担い手として、看護職の皆様が生き活きと活躍していくことができるよう、将来をしっかりと見据えて活動をしてまいります。これからも引き続きご指導ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

組織代表に石田昌宏氏を内定!!

看護の自覚が社会を変える、未来を創る。



石田昌宏氏よりメッセージ

看護が国民に広く行き渡れば、人々の生活の質は向上し、幸福な社会になります。看護は、やりがいのある仕事であるだけでなく、争い多き社会を共生の社会へと変える力を持っていると私は信じています。しかし看護の現場では、環境のあまりの悪さのせいで、その力を発揮できないどころか、努力すればするほど疲弊し、貴重な看護の担い手たちが望みをなくしていきまます。これは社会にとって大きな損失です。

看護の力を真に発揮するためには、私たち一人一人が看護職者としての自信と誇りに基づき努力しなければなりません。他者に依存しても何も生まれません。

ただし、この努力は自分の能力をあげるための努力ではなく、自分たちの置かれている環境を改善する努力です。つまり、看護の力を抑制する様々な法律、制度を変えていくことです。制度の抑圧が弱まれば、私たちは、実は自らがすでに持っている力を発揮し、社会を変え、未来を創ることが必ずできます。看護連盟はこのためにがんばる看護職者の集団です。

私は看護の環境を変える、ひいては社会を変え未来を創るために、一人でも多くの看護職と肩を組んで努力したいと常に願っています。いっしょに行動しましょう。

石田昌宏氏の主な経歴



- 1967(昭和42)年、奈良県大和郡山市生まれ
- 少年時代は親の転勤で、三重県、石川県、東京都、長野県
- 高校は兵庫県の甲陽学院高等学校
- 大学は東京大学医学部保健学科
- 保健師・看護師資格取得
- 看護師として聖路加国際病院、東京武蔵野病院で勤務
- 衆議院議員 外口玉子氏の公設秘書を経験
- 日本看護協会では政策企画室長等
- 日本看護連盟では幹事長等

石田昌宏候補予定者来県スケジュール ホップ(施設訪問)

平成24年 4月 5日(木)	済生会宇都宮病院	芳賀赤十字病院	宇都宮社会保険病院	自治医科大学附属病院	獨協医科大学病院
平成24年 5月21日(月)	老人保健施設 かみつが	御殿山病院	上都賀総合病院	ポリナビワークショップ	

県別リーダーセミナー開催

平成23年9月27日(火) コンセーレ大ホール

参加者:119名

講師:日本看護連盟常任幹事 竹澤 良子先生

テーマ:「看護政策課程入門」

要望書作成体験・リーダーシップについて

県別リーダー セミナーに参加して 足尾双愛病院 中山 秀子

連盟会長より連盟の歩み、諸先輩の活動及び実績、連盟の役割等の話を聞き改めて連盟の活動の大切さを感じました。

この度、看護政策過程入門の講義で要望書の作成体験がありました。看護現場の改善すべき内容について、国会議員に要望してみようといったグループワークがあり、看護現場の問題点が議論されました。

私自身、現在務めている過疎地での医療療養病棟でもたくさん問題点があります。

「高齢化社会」「若人材の離職」「職員の高齢化及び加重労働」等、問題は多岐にわたりますが、私達のグループは『重症患者の長期療養施設の充実』を要望内容に掲げました。

私達の現場ではさまざまな問題が起きていますが、現場の声を政策にという今回の講義で、連盟活動の重要性について考える良い機会となりました。



看護の法律を創ったり、変えたりするには本音の議論の場に看護の代表がいることが、極めて重要!!

国会議事堂 見学会



平成23年10月6日(木)

参加者:71名

国会議事堂 見学に参加して 済生会宇都宮病院 小林睦美



はじめて見学した国会議事堂は外観の重厚感と内部の古き良きものが随所にみられる日本を象徴する建物でした。偶然にも東日本大震災復興支援対策委員会が開催されており、緊迫感のある現場が見学できました。また、たかがい氏の活動拠点である事務所を見学し、ここに多くの会員の声が届くのかと身近に感じることができました。参議院会館では清水嘉子連盟会長をはじめ、各議員の方から看護職の処遇改善・教育の充実・地位の向上など活動内容を聞き、政治力の重要性を実感しました。中でもたかがい氏はとても美しく、気品あふれる力強さを感じました。各地の看護の現場に行き、意見を聞き解決策を考えるなど、具体的な活動の実際や、東日本大震災では「看護の力」が社会から評価されたことなどが印象的でした。看護職の代表としてこれからの活躍に大きな期待を寄せ、私も勇気とパワーをいただきました。看護連盟会館の見学と表参道散策は、久しぶりに都会の空気に触れ、会員の方々と楽しいティータイム、リフレッシュできました。どれも素敵な体験になりました。



朝は小雨でしたが、日中は、気温上昇し東京は快晴。

今回、東日本大震災復興支援対策委員会を傍聴できました。

今回の研修は「政治と看護」を理解するためにとても有意義な研修です。支部の方々の尽力で少しずつ若い世代の参加は増えていますが、さらに若い会員の方々が政治に関心をもてるように私も働きかけていきたいと思っております。

青年部研修会開催

男性看護師を
対象とした研修

平成23年11月9日(水) コンセーレ小ホール
 参加者:81名
 講師:日本看護連盟幹事長 石田昌宏先生
 テーマ:「看護と政治」 GWテーマ「私のマニフェスト」…私が看護界を変える…



石田幹事長を囲んで、男性看護師のびのび研修!! とてもいい笑顔でした。

「青年部研修会に参加して」

上都賀総合病院 荒川 聡



今回、看護連盟青年部研修会に初めて参加させていただきました。

まず、会場の男性看護師一色の異様な光景に驚きました。普段職場でもそうですが、女性看護師の方がほとんどで、他の研修会に参加しても女性の方が人数的に多いので、

今回の研修は変わっているなと感じました。

研修では、特にグループワークがとても印象的で、「私のマニフェスト～私が看護界を変える!」というテーマでワークを行い、マニフェストを作るというものでした。そこでは、男性看護師ならではの労働環境での悩み、家庭を持ち一家の大黒柱としての経済的不安等の意見が多くありました。そして改善していくためにはどうしたらいいのかを話し合いました。対策として、男性看護師の雇用を確保するためマスメディアを用いて男性看護師のイメージアップを図り就職率をあげることや、給与の面では資格手当などの能力給与や管理職の給与を見直すなど、私達男性看護師の看護界を発展していくためのマニフェストを作成しました。

他院の男性看護師と交流を持つ機会も少なかったもので、こういった機会での情報交換や交流を持てたことがとても楽しく有意義な時間を過ごすことができました。またこういった機会があれば是非参加していきたいです。



この趣味のコーナーにあなたの趣味をお寄せください。

趣味コーナー

生涯続ける 自転車ライフ

獨協医科大学病院 看護部 福田 恭子

私は自転車を趣味として12～13年になります。「チームサイズミックス」という、公務員や会社員など様々な職種が集まった老若男女のチームに参加し、愉快的仲間たちと自転車を楽しんでいます。

平均年齢が40歳オーバーという現実もありますが、「還暦過ぎても楽しく走ろう」をスローガンに、耐久レースやサイクリングなどに参加しています。特に、車しか走れないサーキット場を自転車で走れるのはとても魅力的です。モットーが「楽しく安全に」なので、レースは順位を気にせず、みんなで力を合わせて楽しく走っています。今年は私の職場のスタッフも仲間入りしました。初心者ながらも一生懸命走っています。自転車に乗っていると、とても爽快感があり日頃の仕事のストレスが発散され、みんなで汗を流した後のビールも格別です。最近は自転車ブームですが、健康のためにもぜひお勧めします。安全運転を心がけて「自転車ライフ」を楽しみましょう。



40代で仲間なら、この先も仲間！



ピンクに白の水玉模様が行く！



今後の活動予定

5月21日(月)

ポリナビワークショップ

場所: コンセーレ

6月5日(火)～7日(木)

日本看護協会通常総会

場所: 幕張メッセ

6月15日(金)

**日本看護連盟通常総会
決起大会**

場所: 東京プリンスホテル

6月22日(金)

**栃木県看護連盟通常総会
政策推進集会**

場所: コンセーレ大ホール 13:30～17:00

9月14日(金)

県別リーダーセミナー

場所: 宇都宮東武ホテルグランデ

10月3日(水)

国会見学

編集後記

日本漢字能力検定協会2011年を表す漢字は「絆」と発表した。今年の漢字は「絆」。

東日本大地震や台風被害で家族の大切さを感じ、支援の輪も広がったことに加え、女子サッカー・なでしこジャパンのチームワークも理由に挙がったようでした。

絆とは「人と人との結びつき」の意味です。

今年も、看護連盟会員のみなさまが手をひとつに携えて活動できるような情報を伝えていきたいと考えています。

直井 知子
藤井 祥子
神田 貴代